

# 令和 2 年度 事業報告書

## 第 1 章 総括報告

令和 2 年 1 月以降から、日本を含め世界中において新型コロナウイルスの発生及び感染拡大の中、社会の停滞や外出の自粛、3 密を避け人と人の集まりや繋がりの機会が薄れるなど、私たちの生活様式が一変することとなりました。

こうした状況のなか、令和 2 年度は学校の臨時休校や仕事の休業、行事や会議、地域活動等の中止など相次ぎ、人が集まるあらゆる社会の活動が中止または延期を余儀なくされました。

また度重なる「緊急事態宣言」が発令されるなかで、今後の見通しが不透明な状況です。

こうした状況の中で、宮津市社会福祉協議会では新型コロナウイルス感染防止対策を図り、カタチを変えながら取組みを進めて参りました。

特に重点的な取組みとして、財政運営が大変厳しい中、令和 2 年度から 3 ヶ年で財政の健全化や経営の安定化を図ることを基本とした「宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画」に基づく計画の遂行、また今後 3 年間で基金取崩しを行わない組織運営を目指し、中長期における法人経営の健全化や組織基盤の強化を図るため「宮津市社会福祉協議会経営委員会」を立ち上げ取組みを進めて参りました。

主な取組みとして、社協普通会費や外出支援サービス事業利用料の値上げ、新たな受託事業の開始、支出においては役員報酬、管理職手当の削減、事業や団体助成金の削減等に取り組む、財政状況は大きく改善するに至りました。

また各活動や事業においては、新型コロナウイルス感染防止対策や計画に基づきながら取組みを進めて参りました。

1 つ目の「地域福祉・ボランティア活動の推進」では、宮津市の 14 地区すべてに設置している住民主体の社協地区支会組織を中心に「ふれあいサロン活動」や「給食サービス事業」、「敬老会への助成」などの支援を行いましたが、地域活動の自粛や中止等となりました。

また、宮津市地域ささえあいセンターを会場に地域の方が気軽に交流等できる居場所づくり事業「みんな、おいでえなあ」を実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる期間も多くなりました。

新規事業では、宮津市から事業を受託し「第 1 号通所事業所（通所型サービス A（きらりん）」と「オレンジカフェ推進業務（はままちカフェ）」事業を開始しました。

ボランティア活動についても、講座や行事等は中止となりましたが、新たにマスクを活用した「布マスク配布プロジェクト」や「デコマスクコンテスト」の開催、また令和 3 年 2 月にライオンズクラブ国際協会 335-C 地区 5R2Z 宮津ライオンズクラブと「自然災害におけるボランティア支援に関する協定」の締結を行うなど取組みを行いました。

2つ目の「相談業務の充実」については、「福祉なんでも相談窓口」を開設し、市民から多様な相談が寄せられる中で、既存制度で対応できるものは既存制度で対応しつつ家族や地域、関係機関等との連携を図り対応を行ってきました。

なかでも、「生活困窮者自立相談支援事業」及び「生活福祉資金貸付事業」では、新型コロナウイルス感染症の影響により、休業等で減収となり経済的に困窮されている世帯からの相談が急増し、特例緊急小口資金等の貸付相談の対応を行ってきました。

「福祉サービス利用援助事業」では、認知症の方を中心に相談や契約が大幅に増えており、新たに相談員1名を雇用し相談体制強化に努めました。

3つ目の「在宅サービス事業の強化」については、「暮らしのかけ橋事業」や「外出支援サービス事業」、「訪問理容サービス事業」など各種の在宅における福祉サービスを実施しました。

なかでも、「外出支援サービス事業」では、例年運営が厳しいことから、年会費と利用料の値上げを行い運営の健全化に向けて取り組みを進めました。

4つ目の「在宅福祉事業の拡充」では、介護保険事業等の公的なサービス提供を行ってきました。

介護事業所として「訪問介護事業」や「訪問入浴介護事業」及び「居宅介護支援事業」の充実に努め、また、障害者総合支援法に基づく障がいの方への指定居宅介護サービスや同行援護サービス、在宅重度障害者訪問入浴サービスを実施してきました。

介護事業所については、京都府や宮津市から補助金をいただき、サービス提供に必要な消耗品や備品等を購入し、新型コロナウイルス感染防止対策を図りながらサービス提供を行いました。

5つ目の「社会福祉協議会体制の強化・その他の事業等」については、「宮津市社会福祉協議会経営委員会」の開催、宮津市老人クラブ連合会事務局を担い、職員1名を新たに雇用しました。

こうした活動や事業を進めるにあたり、市行政や市民児協、市自治連をはじめ各種福祉団体、ボランティア、事業所や企業の皆様のご理解とご協力のもとに、地域福祉を支える組織基盤の充実、住民参加による福祉サービスの推進などについて地域に根ざした福祉活動を進めていく必要があります。

しかし、新型コロナウイルスの影響により大変厳しい社会情勢ですが、社会福祉協議会が実施する地域福祉活動には、市民の皆様からの会費や善意による寄付金品等を主な財源として事業を実施しているところであり、社会福祉協議会へのご理解とご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

以下、事業ごとの詳細についてご報告します。